

西湖コウモリ穴

西湖コウモリ穴は、青木ヶ原樹海の地下に広がるこの世のものとは思えない洞窟です。この洞窟は、溶岩流の表面の層が冷えるのと同時に、その中をまだ固まらずに流速が速かった内側の溶岩が流れ、外側のみが残ったことにより形成されました。その結果として生じた空洞は、複数の分岐路のある長さ 350m の洞窟探検に最適な洞窟になったのです。

冬の間、ここでは 4 種類のコウモリが冬眠します。同じく青木ヶ原の地下に広がる鳴沢氷穴や富岳風穴とは異なり、西湖コウモリ穴は、夏には涼しく、冬には暖くなるため冬眠に最適な場所となっています。コウモリの生息地への人間の侵入により、コウモリは一時は絶滅の危機にさらされましたが、この洞窟の奥に特別保護地域が設定されたことで、今ではその個体数が回復しつつあります。

西湖コウモリ穴の探検の所要時間は、溶岩鍾乳石や縄状溶岩床などの観察にどれだけ時間をかけるかによって異なりますが、20～30 分です。経路によってはほふくが必要なので、入り口に用意されたヘルメットをお使いになることをお勧めします。幸運なのか不幸なのかはあなたがコウモリ好きかどうかによって変わりますが、日中にこの洞窟を訪れるとコウモリと出くわすことはめったにありません。